
○国際交流員のコラム○

●長いカタカナの言葉のプレッシャーを楽しもう●

鹿児島県国際交流員 金 孝真（韓国出身）

先月、任期を終えて帰国するシンガポール国際交流員を見送りに空港へ行ってきました。帰りに同行した同僚たちと一緒にお昼ご飯を食べました。その日のメニューは、イタリアン。私は「モッツアレラチーズとバジルペストリゾット」を注文しましたが、注文を終えた私に「嚙まずによく言えましたね！」と同僚は言いました。おそらく同僚は、その時の私の焦りや緊張を気づいていたのでしょう。



そうですね。このような長いカタカナの言葉は、日本語を学ぶ外国人にとってはとても難しいです。

ちなみに、私の一番好きなスターバックスのドリンクは「コールドブリュアーコーヒーフラペチーノ」です。もちろんいつもなかなか店員に伝わらなく注文が上手く

モッツアレラチーズとバジルペストリゾット

私：（ドキドキしながら）ショートサイズのコールドブリュアーコーヒーフラペチーノをお願いします。

店員：かしこまりました。ショートサイズのコールドブリュアーコーヒーですね。

私：（慌てながら）いいえ、コールドブリュアーコーヒーフラペチーノです！

いつもこんな感じで、たまに「今日は、頼みやすいメニューにしようかな」と思うときもあります。しかし、なぜか「ネイティブ並みの発音を身に付けたい」という気持ちになり、「今日こそ成功させる！」と決意を固めます。

こういった日本語のカタカナは、韓国語の外来語の発音や表記とかなり違います。この違いが難しいと感じるときもたくさんありますが、この発音や表記の違いを理解していくことで、日本語の構造がわかるようになり、ひいては日本の文化をより深く知るようになると思います。

日本語学習者の皆様、母国語との違いが難しいと思いますが、その違いを楽しみながらこれからもお互い頑張りましょう！